

令和 2 年度

事 業 報 告

社会福祉法人 仁和会
せんげん（共同生活援助）

総 括

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、予防対策等に重点を置いたホームでの生活へと大きな変化が伴いました。手洗い・うがい・マスク着用・消毒・換気・3密を避けるなどの徹底を図り、出来る限りの対応に努めました。食事については、基本的に各居室での個別対応へ変更、日々の日課も見直しを行っています。ユニット旅行やお花見の会などは中止となり、余暇時間の外出や買い物、季節の行事・外食なども、中止や内容変更等せざる負えない日々が続きました。しかし、利用者様はじめ、ホーム関係者の皆様のご理解とご協力を賜り、一日一日を大切に過ごしながら、それぞれに落ち着いた暮らしが出来ていたと思います。

昨年度も、ホームのテーマである「暮らしごこちの良い生活」を目指して、特に利用者様の生活安定の基礎となる個別支援計画目標の達成へ向け、支援の内容、方法及びマニュアルの見直しを継続的に行いました。一年を通し、安全衛生と健康管理の徹底を図りながら、職員一丸となって支援を行って参りました。

目 次

第 1 章	施設運営の実施状況	1
第 2 章	障害福祉サービス	3
第 3 章	健康管理	4
第 4 章	相談、苦情対応、虐待の防止	4
第 5 章	家族との連携	5
第 6 章	援護の実施者、協力機関との連携	6
第 7 章	職員体制	6
第 8 章	会議・研修等	6
第 9 章	災害対策・事故対応	7

※年齢、実績等のデータは、特記がない場合は令和3年3月31日現在で計上。

第 1 章 施設運営の実施状況

1. 利用実績

- | | |
|------------|-----------------------|
| (1) 利用定員 | 18名 |
| (2) 欠員月数 | 0ヶ月 |
| (3) 新規利用者数 | なし |
| (4) 退所者数 | なし |
| (5) 長期欠席者数 | 1名 (新型コロナウイルス感染予防のため) |

2. 利用者の状況

(1) 年齢階層別

年齢層	男	女	計
20～29	2		2
30～39	3		3
40～49	3	2	5
50～59	4	3	7
60～69			0
70以上	1		1
計	13	5	18
平均年齢	45.2歳	51.4歳	46.9歳

(2) 障害支援区分

程度	男	女	計
区分1	1		1
区分2			
区分3	2		2
区分4	5	4	9
区分5	5		5
区分6		1	1
計	13	5	18

(3) 延べ利用日数

程度	せんげん	きすげ	かたまち	みなみ	計
区分1	0	0	0	218	218
区分2	0	0	0	0	0
区分3	0	0	700		700
区分4	455	1,078	363	439	2,335
区分5	704	0	365	118	1,187
区分6	0	291	0	0	291
計	1,159	1,369	1,428	775	4,731
平均支援区分	4.6	4.4	3.8	3.5	4.1

(4) 日常生活動作

内容	支援・助言	一部介助	全部介助
食事支援	8	5	
排泄支援	4	8	
着脱衣支援	16	1	

歩行支援	1	3	
寝返り支援			
車椅子利用者		3	
おむつ使用者	3		

第 2 章 障害福祉サービス

1. 日常生活支援

(1) 食事の提供、入浴、歯磨、洗濯および整容等の支援をとおして、日常生活習慣を身につけるとともに、他利用者との大人としての人間関係形成を目指して、支援いたしました。

(2) タイムテーブル

時 間	内 容
午前 6:00 7:00	起床 着替え 洗面等 朝食
午前 8:00 ～ 帰 寮	出勤準備 出勤 (休日は個々での余暇活動)
午後 帰 寮 6:00 ～ 9:00	洗濯、入浴、自由時間 夕食 洗濯、入浴、余暇時間 共同の場消灯 (10:00には就寝できるよう支援)

2. その他

(1) 貴重品、金銭管理

法人預り金等管理規程に沿って適切に管理を行いました。

(2) 余暇（外出）活動の支援

新型コロナウイルス感染拡大予防の観点を踏まえ、感染状況などを鑑みながらウォーキングや体操・ストレッチ等実施し、心身のリフレッシュを図りました。誕生会や季節の行事はユニット毎に実施、外食は宅配等にて対応致しました。毎年恒例のユニット旅行は中止となりましたが、代替えとしてユニット別に「お楽しみ会」を下記のとおり実施しました。

- ・ユニットきすげ 10月29日
- ・ユニットせんげん 11月 3日
- ・ユニットかたまち 11月12日
- ・ユニットみなみ 11月19日

(3) 日常的な相談、助言

平成25年度より実施している「対話の時間」の中で、さまざまな相談等を実施しました。その他、TPOにあった行動がとれるよう、助言しました。

第3章 健康、衛生管理

健康、衛生管理は下記のとおり実施しました。

1. 利用者の健康、衛生管理

- (1) 通所、勤務先および協力医療機関との連携による健康管理情報の取得
- (2) 定期および不定期の施薬（内服、外用）の実施
- (3) 緊急を要する通院の援助
- (4) 日常的な心身の健康状態の観察と対応、検温の実施
- (5) 入浴や排せつ等の身体衛生の励行への助言、援助
- (6) 歯の健康維持のための歯磨きの励行への助言、援助
- (7) 衣服の洗濯、清潔および衛生面への日常的な助言、援助
- (8) 寝具の洗濯及び布団乾燥機等による衛生管理の励行
- (9) ユニット（共用部）および各居室の定期換気、消毒、加湿、空調等の支援
- (10) マスクの着用、手洗い、うがい、手指消毒などの支援

2. 職員の健康管理

新規採用者の採用時健康診断および、年1回の定期健康診断（夜間勤務者は年2回）を実施しました。また、法人による「メンタルヘルスチェック」を行いました。検温を毎日実施し健康状態の把握に努めています。

3. 投薬管理の徹底教育

誤配薬は職員の慣れが発生原因と考え、投薬時については、特にマニュアルに定められた手順・方法で、常に原則を確認しつつ実施する旨の徹底を図りました。

第4章 相談、苦情対応、虐待の防止

1. グッドパーソン

「法人グッドパーソン規程」に基づき、11月26日に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点等を鑑み、中止となりました。

2. 苦情対応

苦情については「法人苦情対応規程」に基づき下記のとおり体制整備を行いました。

規程に基づく本年度の苦情はありませんでした。

役 割	氏 名	連 絡 先
苦情解決責任者	吉島 裕一郎 (管理者)	0 4 2 - 3 5 1 - 0 5 0 5
苦情受付担当者	坂井 和美 (主任)	0 4 2 - 3 5 1 - 0 5 0 5
第 三 者 委 員	井出 政俊	0 4 2 - 3 6 4 - 0 6 3 7
	田中 真知子	0 4 2 - 3 6 0 - 1 2 9 4

3. 虐待の防止

ホーム会議でも虐待防止に関する資料に基づき学習する機会や改めて正しい認識を持つ機会を設けました。共同生活援助の援助等の場面は、常に密室であることを十分に認識するよう啓発、また、法人の虐待防止委員会による研修への参加及び「虐待防止チェックリスト」を全職員で実施し、職員の資質の向上を図りました。

第 5 章 家族との連携

1. 保護者会の実施状況

(1) 全体保護者会

- ・ 5月 (新型コロナ対策・生活の様子等)
- ・ 1月 (新型コロナ対策・生活の様子・行事報告等)

※新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から文書での配布対応

(2) ユニット別保護者会

ユニットの状況にあわせた方法、内容等で今年度も実施しました。

- | | | |
|---------------|-------|-----------------|
| ・ユニットせんげん・きすげ | 9月 9日 | 新型コロナ対応・個別支援計画等 |
| ・ユニットかたまち | 9月12日 | 〃 |
| ・ユニットみなみ | 9月16日 | 〃 |

(3) お花見の会

3月27日に予定していた恒例のお花見会兼お食事会については、新型コロナウイルス感染拡大防止等を鑑み、残念ながら中止といたしました。

2. その他

日常生活を快適におくるため、ご家族の援助を受けるべく連携を図りました。特に、新型コロナウイルス感染症に対する支援や生活全般、個別支援計画、休日の対応（ヘルパー外出等のお願いやホームでの買い物支援について）のことなど、適宜文書等にて通知・連絡を行いました。

第 6 章 援護の実施者、協力機関等との連携

1. 援護の実施者との連携

利用者の継続利用等に伴う障害福祉サービスの手続き等が適切に行えるよう連携し調整を実施しました。

2. バックアップ施設との連携

緊急時のバックアップ体制を整えている「府中はるみ福祉園」および「府中さくらの杜」との連携体制の確立や、日常的な情報交換を積極的に行いました。

3. ボランティア、実習生の受入れはありませんでした。

4. 見学者の受入れは、ありませんでした。

第 7 章 職員体制

1. 新規採用

・鈴木 信行（常勤生活支援員） 4月 1日付

2. 退職

・久末 栄子（死亡による退職） 2月15日付

第 8 章 会議・研修等

グループホームせんげんの日常の運営、利用者援助、支援に必要な会議および研修等を、下記のとおり実施いたしました（新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、中止及び少人数での開催、書面での通知にて実施等の対応を含む）。

1. 会議

- | | |
|------------------|------------------|
| (1) ホーム会議 | 12回（毎月） |
| (2) ホーム保護者会 | 1回（9月）※ユニット別のみ開催 |
| (3) 法人施設長会議 | 24回（毎月第2、第4水曜日等） |
| (4) 法人主任会議・衛生委員会 | 12回（毎月第3水曜日等） |
| (5) 管理職・主任・常勤打合せ | 適宜 |
| (6) ユニット別会議 | ホーム会議内にて縮小して適宜実施 |

2. 研修

- (1) 法人内研修（今年度は、オンラインによる研修が主となりました）
- ・ 9 / 19 ハラスメント研修
 - ・ 11 / 21 各施設の課題や個別ケースについて
 - ・ 2 / 20 虐待防止研修（アンガーマネジメント協会 岸辺 知佐子氏）
 - ・ 3 / 13 来年度の事業計画について

- (2) 外部研修（今年度はオンラインによる研修が主となりました）
- ・ 10 / 22、12 / 3 障害者グループホーム従事者基礎研修 4名
 - ・ 2 / 16 障害者施設及び障害福祉サービス事業所等における感染症対策力向上支援業務における研修会（基礎編） 2名
 - ・ 社会福祉施設長資格認定講習課程 1名

(3) 文書研修

法人内会議等の議事録、関係機関からの通達、冊子等の情報を回覧し、各自資質を向上させることに努めました。

(4) 実地研修

上記の机上の研修のほか、実地の場面での教育、研修（OJT＝オンザジョブトレーニング）を実施しました。

第 9 条 災害対策・事故対応

利用者の生命、身体および財産を保護するため、下記のとおり対策を実施しました。

1. 防火設備等の点検実施

- ・ ユニットせんげん・きすげ 8 / 26 2 / 10（年2回）
- ・ ユニットみなみ 8 / 26 2 / 10（年2回）

※ユニットかたまちはマンション全体での点検の為、法人としての点検は不要となっている。

2. 防災訓練

- ・ 避難訓練

ユニットせんげん・きすげ	6 / 3	8 / 5	11 / 4	2 / 3
ユニットかたまち	6 / 3	8 / 5	11 / 4	2 / 3
ユニットみなみ	6 / 3	8 / 5	11 / 4	2 / 3

3. その他の防犯対策の実施

- (1) 全ユニットに防犯用非常通報装置（セコム）を設置。
- (2) 府中警察署の協力による「警察官立寄所」シールの玄関貼付。